

## 外国人材の受入拡大・共生に向けた対応方向 概要

平成31年3月（7月一部改訂）

北 海 道

## &lt;背景（現状）&gt;

- ①日本の状況：  
先進国間での人材争奪戦の様相→H30.12 入管法改正→「特定技能」外国人の増加見込み
- ②北海道の状況：  
全国を上回るスピードで人口減少や少子高齢化が進行→外国人材の受入れがますます重要  
大都市圏に比べ賃金水準が低い→より多くの収入を求める外国人材が大都市圏に集中する懸念  
広大なエリアに外国人が分散→地域での受入環境整備が必要、定着に向け交流拡大も重要

## &lt;目指す姿&gt;

## 「外国人に選ばれ、働き暮らしやすい北海道」

※北海道で安心して働き、暮らすことができる環境づくりを進め、その魅力を国内外へ情報発信していくことで、多くの外国人材が本道に就労することを目指す。

取組を推進

## &lt;外国人材の受入拡大・共生に向けた課題&gt;

## &lt;外国人&gt;

- ・日本に関心がある外国人材に北海道を知ってもらう
- ・来道後の日本語能力向上
- ・日本の文化、地域の慣行に対する理解促進

## &lt;道内企業等&gt;

- ・コミュニケーション能力の向上、日本語教育の必要性
- ・外国人材の採用ノウハウ
- ・労働条件、就業環境の適正化
- ・住宅確保や生活支援への対応

## &lt;地域（住民）&gt;

- ・外国人増加に対する不安感の解消
- ・コミュニケーションの充実
- ・経験、知識、習慣など共通理解促進

- ・道や市町村においては、人材の育成や国・関係団体等との連携強化を図りながら、受入拡大・共生に向けた環境づくりを進めていくことが必要

## &lt;取組の基本方向と主な施策&gt;

## 1. 外国人と共に暮らすことの重要性を理解できる環境をつくる

- ①啓発活動の推進      ②日本人と外国人との共同行事の開催      ③キーパーソンの人材育成

## 2. 外国人が安全に安心して暮らせる環境をつくる

- ①情報提供・相談体制の充実      ②災害時の情報提供・支援  
③外国人患者の受入環境整備や子育て支援サービスの多言語化      ④住宅確保のための環境整備・支援  
⑤外国人児童生徒の教育等の充実      ⑥地域における外国人ネットワーク化

## 3. 外国人が日本の文化や地域の慣習・慣行を理解できる環境をつくる

- ①外国人の日本語学習の支援、多言語化環境の推進      ②行政・生活情報の提供等

## 4. 業界や企業等における受入環境づくりを支援する

- ①行政、業界団体等の連携体制の構築      ②新たな在留資格に関する説明会の開催  
③外国人材の就業支援      ④適正な雇用管理・就業環境の周知・啓発  
⑤関係団体や企業等の取組への支援

## 5. 北海道で働き暮らす魅力を外国人材にPRし、呼び込む

- ①海外の関係機関等とのネットワーク構築      ②道内の就業環境や生活環境の情報発信